

8. 須磨寺駅<須磨寺>

須磨寺駅という名称にあるように、「須磨寺」という名称で呼ばれていますが、正式には上野山福祥寺(じょうやさんふくしょうじ)という真言宗須磨寺派の大本山のお寺となっています。須磨寺駅より北に延びる参道をたどれば寺正面の仁王門にたどり着くことができますし、寺の北側にある駐車場より行くこともできます。平敦盛遺愛の青葉の笛、敦盛の首塚、義経の腰掛の松など重宝や史跡が豊富な「源平ゆかりの古刹」として全国的に知られています。

この寺の近くで源平一の谷合戦が行われており、この時須磨寺は源氏の大將源義経の陣地であったと伝えられています。海と山がせまった地形を利用し、海側に陣を構えた平家の裏をかき、義経は山から崖を駆け下り逆落としの奇襲をかけた話は有名であり、笛の名手としても高名な平敦盛は、この合戦時に源氏の武将である熊谷直美に打ち取られるという話は平家物語などいろいろなところで語られています。

(杉岡 良吉 記)